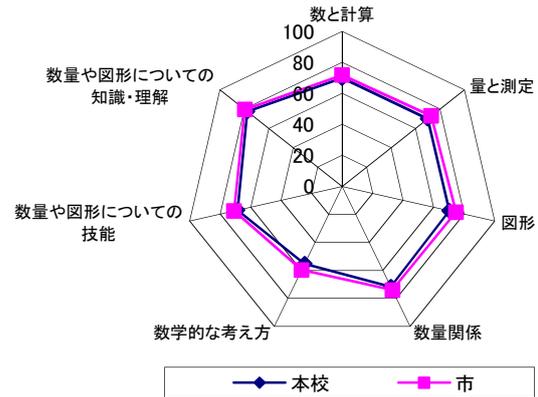


# 宇都宮市立新田小学校 第3学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と計算	69.8	71.8
	量と測定	69.9	72.8
	図形	70.2	74.7
	数量関係	71.7	74.1
観点別	数学的な考え方	55.3	59.7
	数量や図形についての技能	68.6	70.9
	数量や図形についての知識・理解	77.5	79.6



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市の平均正答率と比べ2.0%下回った。</li> <li>繰り上がりのある筆算・余りのあるわり算の計算・分数の大きさ・文章問題の乗除法の立式では、宇都宮市の平均正答率を1～5%程度上回った。</li> <li>繰り下がりのある筆算・かけ算の筆算・余りのあるわり算のわる数と余りの関係・大きい数の位取りや大小関係の理解では、宇都宮市の平均正答率を1～10%程度下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの計算の仕方をもう一度復習しながら、繰り返し計算練習に取り組ませ、習熟を図る。</li> </ul>
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市の平均正答率と比べ、2.9%下回った。</li> <li>身近にあるものの重さを推察して適切な単位を選ぶ問題では、宇都宮市の平均正答率を5.3%上回った。</li> <li>長さの適切な単位の選択・時刻や時間の計算・重さの計算・道のりの読み取りでは、宇都宮市の平均正答率を1～5%程度下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業的・体験的な活動を多く取り入れ、生活の中で、実際に長さを測定したり、時間の読み取りをしたりして、長さや時間的感覚を養えるようにする。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市の平均正答率と比べ、4.5%下回っている。</li> <li>直方体の構成要素である辺については、宇都宮市の平均正答率とほぼ同じであるが、面の形と数にかんしては、8.1%下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>直方体を作図する中で、図形を構成する要素に着目させるように指導する。また、身近な図形を、辺や頂点、点、面の数に着目することによって、分類させたり、図形の名称をしっかりと覚えさせたりすることで習熟を図る。</li> </ul>
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市の平均正答率と比べて、2.4%下回った。</li> <li>棒グラフの読み取りは、宇都宮市の平均正答率を8.4%上回り、□を使った乗法の文章問題の選択でも2.7%上回った。</li> <li>□を使った減法の文章問題を表した図の理解では、宇都宮市の平均正答率を大きく下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章問題から、□を使って図をかいたり、立式したりして復習し、習熟を図る。</li> </ul>